

群馬工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	数値解析特論
科目基礎情報				
科目番号	131	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	環境工学専攻	対象学年	専2	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	数値計算法第2版新装版 三井田 慎郎, 須田 宇宙 著:森北出版、参考書:C&FORTRANによる数値解析の基礎:川崎晴久:共立出版			
担当教員	雑賀 洋平			

到達目標

丸め誤差、打ち切り誤差、桁落ちについて理解できる。
数値解析アルゴリズムについて理解できる。
得意とする言語をもちいてプログラムが書けて実行できる。
 具体的には、2分法、ニュートン法による非線形方程式の数値解法、ガウスの消去法、ガウスジョルダン法、LU分解による連立一次方程式の数値解法、台形則、シンプソン則による数値積分法、オイラー法、ルンゲ・クッタ法による微分方程式の数値解法)□簡単な情報処理の問題に対して、上記の数値解析アルゴリズムを組み合わせて問題解決ができる。

ループブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	丸め誤差、打ち切り誤差、桁落ちについて理解でき、利用できる。	□丸め誤差、打ち切り誤差、桁落ちについて理解できる。	□丸め誤差、打ち切り誤差、桁落ちについて理解できない。
評価項目2	数値解析アルゴリズムについて理解でき、得意とする言語をもちいてプログラムが書けて実行できる。	数値解析アルゴリズムについて理解できる。	数値解析アルゴリズムについて理解できない。
評価項目3	簡単な情報処理の問題に対して、上記の数値解析アルゴリズムを組み合わせて問題解決ができる。	簡単な情報処理の問題に対して、上記の数値解析アルゴリズムを組み合わせて利用できる。	簡単な情報処理の問題に対して、上記の数値解析アルゴリズムを組み合わせて利用できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	<input type="checkbox"/> 丸め誤差、打ち切り誤差、桁落ちについて理解できる。 <input type="checkbox"/> 数値解析アルゴリズムについて理解できる。 <input type="checkbox"/> 得意とする言語をもちいてプログラムが書けて実行できる。 具体的には、2分法、ニュートン法による非線形方程式の数値解法、ガウスの消去法、ガウスジョルダン法、LU分解による連立一次方程式の数値解法、台形則、シンプソン則による数値積分法、オイラー法、ルンゲ・クッタ法による微分方程式の数値解法) <input type="checkbox"/> 簡単な情報処理の問題に対して、上記の数値解析アルゴリズムを組み合わせて問題解決ができる。
授業の進め方・方法	座学、実習
注意点	

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	ガイダンス	概要説明、コンピュータのスキルについての調査
	2週	非線形方程式の数値解法 1	二分法、ニュートン法の説明と実習
	3週	連立方程式の数値解法 1	ガウスの消去法、ガウス・ジョルダン法、LU分解を利用した連立方程式の解法の説明
	4週	連立方程式の数値解法 2	実習 1、ガウスの消去法、ガウス・ジョルダン法
	5週	連立方程式の数値解法 3	実習 2 : LU分解による連立方程式の解法
	6週	最小二乗法と補間 1	最小二乗法の説明と実習
	7週	最小二乗法と補間 2	ラグランジュ補間の説明と実習
	8週	数値積分 1	台形法、ニュートンコーツの数値積分法の説明
4thQ	9週	数値積分 2	実習
	10週	微分方程式の数値解法 1	オイラー法、ルンゲ・クッタ法の説明
	11週	微分方程式の数値解法 2	実習
	12週	総合演習 1	グループ分け、課題設定
	13週	総合演習 2	課題遂行 1
	14週	総合演習 3	課題遂行 2
	15週	総合演習 4	課題遂行 3、報告書作成、発表
	16週	試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	50	0	0	0	0	30	80
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	20